



# 風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.16

令和2年12月8日発行



## 木浦小サポーターと秋の恵みに感謝

11月27日、秋の恒例行事となっている収穫祭を行いました。体験学習や図書館、登下校の見守りなど日頃から当校の教育活動を支えてくださっている地域のサポーター13名をお招きし、サケ汁や季節の野菜料理、子供たちの発表でもてなしました。

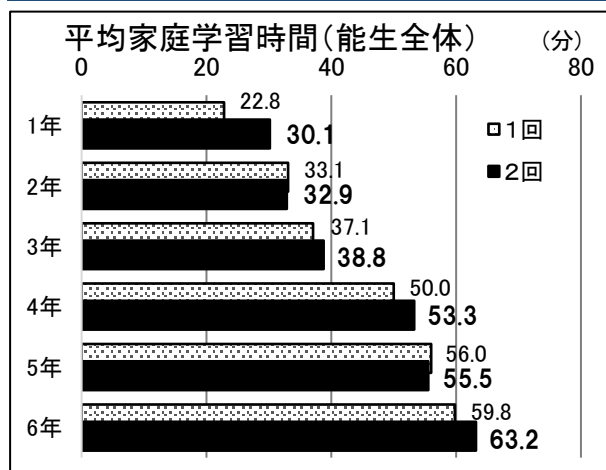
料理は全て子供たちと職員が心を込めて作りました。メインのサケ汁は、3・4年生が採卵・授精で命をつないだサケの身を骨から取っただしに入れ、1・2年生が畑で大切に育てて手作りしたこんにゃくと大根、地域の方からいただいた白菜と大根、ねぎをたっぷり加えて作りました。買ったのは人参とごぼう、調味料くらい。御飯はもちろん「風の子米」。鍋と野菜料理で、木浦の秋の恵みを子供たちの感謝の気持ちで味付けしました。

会食の間に、地域学習・体験学習の成果を発表しました。3・4年生は文化祭でみんなを楽しませてくれた「木浦だヨ！全員集合」の続きで「サケ」バージョン。懐かしいドリフのリズムに合わせて、会場は手拍子と温かい笑顔で盛り上がりました。

コロナ禍にあります、日常の感染防止対策と調理の衛生対策を徹底することで収穫祭を実施する判断をしました。この収穫祭は、以下の理由から重要な意義があると考えています。

当校は、地域学習・体験学習に重点を置き、木浦地域との密接な関わりをとおして、子供たちの地域愛、生きる力を育てています。また、極小規模で子供の人間関係に限られているため、まとまった人数の方々との交流は貴重な機会です。したがって、収穫祭は、感謝の気持ちを伝えるとともに、地域に学習成果を還元するため、教育活動に必要な場と位置付けています。

## 家庭学習の充実のために 第2回かがやき旬間の結果から



11月7日から16日まで、第2回かがやき旬間として、能生の小中学校全体で家庭学習と生活習慣の充実に取り組みました。

小学生の平均家庭学習時間は左図のとおりで、全学年が推奨する(学年×10分)を達成できました。当校もほとんどの子供が推奨時間、能生全体の平均時間を上回りました。

家庭学習は、学校で学んだことを確かな力として身に付けるため必要です。毎日、決まった時間に集中できる環境でさせてください。

### ■ こんなことはありませんか？

例(子)「自主勉で何をしたらいいかな。」

(親)「今日習った漢字を全部10回ずつ書きなさい。」

学習習慣を身に付ける段階であればよいかもしれませんが、「10回ずつ書くこと」が目的になっています。よく覚えていない漢字はともかく、既に覚えた漢字までも10回書くのは無駄な作業に思ってしまう、やりがいや意欲が出てきません。そこで、

(親)「今日習った漢字を全部1回ずつ書いて、自信がない漢字だけ練習したらどうかな。後で見てあげるね。」

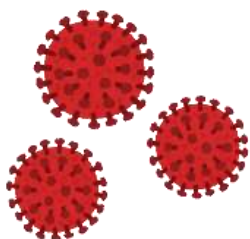
と伝えて後で確認し、頑張りを褒めてください。子供は、学習の成果を見てもらい褒められるとうれしくなり、次への意欲も増してきます。

絶対にしてほしくないのは、

(親)「私が習ったときとは書き順が違うから…」

などと避けてしまうことです。※書き順が変わった漢字はありません。

小学生のうちには家族の関わりが必要です。一緒にネットの学習動画NHK for schoolを見てもなかなか面白いですよ。



## 改めて感染防止の行動を

第3波とされる感染拡大が止まりません。現在、市内では感染者が確認されていませんが、最初の流行以来、長期化している感染防止の行動に気の緩みが生じていないか心配です。

目に見えないウイルスが相手です。感染しても無症状の人もあります。感染はいつ、どこで、誰に発生してもおかしくありません。もしも自分が無症状の感染者だったと考え、大切な人を守るため、家族ぐるみ、地域ぐるみで改めて感染防止の行動を心掛けましょう。

- ・3密の回避、マスクの着用、こまめな手洗い・うがい、規則正しい生活に加え、適切な換気と加湿をしましょう。
- ・年末年始に向かいますが、人が多く集まる場所や感染多発地域へ行くのはガマンです。
- ・もしも！と思ったら、帰国者・接触者相談センター(糸魚川保健所)か、かかりつけの医療機関へ。すぐに学校へも御連絡ください。学校は全力で守ります。
- ・市内や地域、学校に感染者が出ても、冷静な行動と人権への配慮を忘れずに。